

ることが大きい。富士調たろうが、今後日高影響するだろう」と指重が良ければ地価も堅などで業績が落ちれば摘する。

アンモニアから水素

岐阜大と
沢藤電機

岐阜大は21日、沢藤電機(太田市新田早川町、吉川昭彦社長)と共同で、アンモニアを原料とする水素製造装置の試作機を開発したと発表した。低コストで効率良く、水素のみを取り出すことができるとする。水素を燃料とする燃料電池発電機や燃料電池自動車の普及に向け、2020年の実用化を目指す。

研究センター長の神原信志教授(群馬大大学院工学研究科修了)と同社の共同研究。世界で初めて、プラズマを用いて常温、常圧、無触媒でアンモニアから水素を製造する「プラズマメンブレンリアクター」を開発した。プラズマを高効率で発生させる高電圧電源を組み合わせることで、純度99・999%の水

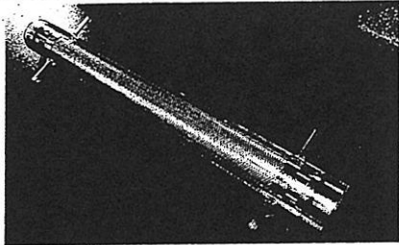
素を製造することに成功した。燃料電池は次世代工素を製造することに成功した。

アンモニアを混入させず、水素だけを取り出す。同大は、装置で製造した水素を燃料電池に用いたところ、発電を

考科大(前橋市)の設備

燃料電池は次世代工素を製造することに成功した。

同大は、装置で製造した水素を燃料電池に用いたところ、発電を



確認したとしている。今後、工事現場やイベントで使われる屋外の小型発電機をはじめ、産業用・家庭用の発電機や燃料電池自動車などへの応用を目指す。